

# 栄養部

## a. 体制

栄養部は、栄養部部長（糖尿病内分泌内科副部長兼任）のもと管理栄養士 17 名と、調理師・調理員 6 名（委託給食会社へ出向）の合計 24 名（2025. 3. 31 現在）で構成されています。

### 〈栄養管理〉

入院患者の栄養管理の充実を目指し、病棟担当制で患者の病態を把握した管理栄養士がベッドサイドで栄養状態の評価を行っています。2022 年 12 月より SCU から開始した重症患者への早期栄養介入については 2023 年 6 月より専任の管理栄養士を配置し ICU へも拡大し、2025 年度に向けて HCU 開始とし、全ユニット目指しています。

入退院サポートステーションでは多職種連携のもと入院前より患者の栄養評価を管理栄養士が行っています。栄養サポートチーム、褥瘡対策チーム、口腔ケア・嚥下リハビリチーム、がんリハビリチーム、緩和ケアチームのチーム医療に参画しています。個人栄養指導は予約制で行っています。集団栄養指導は、糖尿病教室、腎臓病教室を開催しています。下記の厨房改修に栄養指導枠を減じて対応したため、加算件数は前年比マイナスになりましたが、工事終了後は通常枠で再開しております。

### 〈給食管理〉

給食部門は一部委託しています。委託会社が給食に関する一連の業務を行います。患者様に寄り添ったお食事の提供を目指し、心を込めたメッセージカードを添えた行事食を行っており 2024 年度は 17 回実施しました。産後のお祝い膳、調乳ミルクの提供も行っています。厨房施設の老朽化についてワーキンググループが発足され 2024 年度に改修工事をおこないました。食事を温める再加熱カートは、最新の機器としてマイクロ波オートタイプ方式を採用しています。より衛生的に安心、安全な給食を提供しています。

### 〈管理栄養士の認定資格等取得状況〉（2025. 3. 31 現在）

※がん病態栄養専門管理栄養士（日本病態栄養学会）

山田信子、京面ももこ、高山祐美、松元知子、巽絢子

※栄養サポートチーム専門療法士（日本臨床栄養代謝学会）

山田信子、巽絢子、栗林真理

※栄養経営士（一般社団法人 日本栄養経営実践協会）

京面ももこ、牧山由美

※静脈経腸栄養（TNT-D）管理栄養士（日本栄養士会）

京面ももこ、名倉成美、高山祐美、栗林真理、中川佳恵

※日本糖尿病療養指導士（日本糖尿病療養指導士認定機構）

辻秀美、山田信子、京面ももこ、高山祐美、巽絢子、石田梨奈

※病態栄養認定管理栄養士（日本病態栄養学会）

辻秀美、山田信子、京面ももこ、高山祐美、松元知子、巽絢子、栗林真理、名倉成美

※臨床栄養師（日本健康・栄養システム学会）

牧山由美

※サルコペニア・フレイル指導士（サルコペニア・フレイル学会）

牧山由美

※腎臓病療養指導士（日本腎臓病協会）

名倉成美、高山祐美

※心不全療養指導士（日本循環器学会）

牧山由美

※栄養治療専門療法士 がん専門療法士（日本臨床栄養代謝学会）

巽 絢子

※肝疾患病態栄養専門管理栄養士（日本病態栄養学会）

名倉 成美

## b. 実績

### 1、診療実績

(件)

2024年度		単位	2023年度	2024年度	前年比
入院時食事療養費（I）			459,830	463,962	4,132
内 訳	入院時食事療養 I（1）	食	445,996	448,094	2,098
	入院時食事療養 I（2）	食	13,834	15,868	2,034
	食堂加算	人	174,492	176,916	2,424
	特別食加算(再掲)	食	186,969	190,235	3,266
	特別食加算加算率	%	40.7	41.0	(0.3)
栄養食事指導					
個人栄養食事指導料		件	4,718	3,602	-1116
内 訳	入院栄養食事指導料(初回)	件	2,242	1,662	-580
	入院栄養食事指導料(2回目以降)	件	648	346	-302
	外来栄養食事指導料(初回)	件	609	494	-115
	外来栄養食事指導料(2回目以降)	件	1,219	1,100	-119
集団栄養食事指導		件	135	120	-15
糖尿病透析予防指導管理		件	84	47	-37
栄養サポートチーム加算		件	399	368	-31
緩和ケア 個別栄養食事管理加算		件	3,120	2,867	-253
早期栄養介入管理加算		件	2,184	1,584	-600

## 2、集団教室

### ◆糖尿病教室

毎月第2金曜日 14:00-14:30

2024年6月14日

「糖尿病の食事療法の基本と夏の水分補給の注意点」担当：米田（講師）、松元、中川

2024年12月13日

「糖尿病の食事療法の基本と年末年始の食事の工夫」担当：米田（講師）、松元、中川、高橋

### ◆腎臓病教室

2025年1月21日

「今日からできる！食事療法の基本とコツ」担当：高山

## 3、企画参加

### 〈院外活動〉

◆糖尿病療養指導ガイドブック 編集委員 京面ももこ

◆CDEJ25周年記念号 CDEJ 座談会出席：京面ももこ

### 〈院内活動〉

◆2024年11月15日 世界糖尿病デー

医師・看護師・薬剤師による講演の会場設営や参加者誘導などサポート

担当：米田、高橋

◆2025年2月5日 第4回褥瘡ケア研修会

担当：高山

「あなたはわかる？褥瘡クイズ～栄養編～」

◆2025年3月4日 きたのキドニーデイ 2025

担当：高山

「みんなで減らそう食塩量～日本人は何から食塩を取っている？～」

### 〈患者会〉

◆パンジーの会（2024年11月15日）

世界糖尿病デーの講演会をパンジーの会とした

## 4、2024年度 行事食（全てにメッセージカードが付きます）

- ・4/1（花見）：鮭の焼き漬、菜の花のおひたし、春キャベツの味噌汁、華風和え
- ・5/5（こどもの日）：小児食、真鯉のデザートを提供
- ・5/13（母の日）：アップルパイを提供
- ・6/17（父の日）：クリームブッセを提供
- ・7/7（七夕）：七夕そうめん、鮭のレモン仕立て、冬瓜煮付け、（一部七夕3食ゼリーを提供）
- ・7/24（土用丑の日）：柳川風、あおさ汁、小松菜の辛し和え

- ・8/5 (花火大会)：ソーダゼリーを提供
- ・9/16 (敬老の日)：肉豆腐、焼なすの焼浸し、すだち和え、水ようかん
- ・10/31 (ハロウィン)：ハロウィンデザートを提供
- ・11/30 (紅葉)：栗ムースを提供
- ・12/21 (冬至)：プルコギ、南瓜の盛り合わせ、青梗菜おひたし
- ・12/24 (クリスマス)：ビーフシチュー、ハウレン草ソテー、クリスマスサラダ、クリスマスプリン
- ・12/31 (大晦日)：年越うどん、赤魚生姜あん、三度豆のごまあえ
- ・1/1 (正月)：雑煮、祝肴など
- ・1/7 (七草)：七草入りかき玉汁
- ・2/2 (節分)：巻寿司、赤魚ゆず照り煮、きのこ汁、しろ菜ゆず和え、福豆
- ・3/3 (雛祭り)：鱈のキノコあんかけ、エビ団子汁、ほうれん草お浸し、ひなあられ

### c、研究実績

#### 〈研究会発表〉

##### ◆2024年8月23日

第22回研究所発表会 きたの優秀論文賞 コメディカル部門 原著論文 最優秀賞

Association of body size distortion with low body mass index in female patients with nontuberculous mycobacterial lung disease.

高山祐美

##### ◆2025年2月23日 2024年度大阪糖尿病医療学研究会

返事はいつも「うん」「わからない」で答える関わりに難渋した若年2型糖尿病患者の症例

米田奈央、松元知子、中川佳恵、巽絢子、高橋寛子、辻秀美、増田有美、古河てまり、竹内麻衣  
酒井麻里子、本庶祥子、濱崎 暁洋

#### 〈学会発表〉

##### ◆2024年9月14日 第1回日本病態栄養学会近畿地方会 大阪

NSTの介入で経口摂取の維持を可能にした一例

石田梨奈、名倉成美、巽絢子、猪崎愛、大洞佳代子、児玉晃子、上田優貴子、田中英治、辻秀美、本庶祥子

##### ◆2025年1月18日 第28回日本病態栄養学会年次学術集会，京都

血液腫瘍患者における無菌食の提供内容拡充後の食事満足度評価

中川佳恵、高山祐美、毎熊由美子、本庶祥子、北野俊行

##### ◆2025年3月28日-30日 第89回日本循環器学会学術集会

心不全患者に対するGLIM基準による低栄養診断についての検討

牧山由美、中根英策

#### 〈学会ショートレクチャー〉

##### ◆2024年9月14日 第1回日本病態栄養学会近畿地方会 大阪

「ACPの実践例～管理栄養士にできること～」 松元知子、

### 〈執筆活動〉

◆糖尿病療養指導ガイドブック 2025 (担当箇所非公開) 京面ももこ

◆骨粗鬆症に対する人間ドックでの管理栄養士の取り組み「骨コツ御膳」

松元知子、毎熊由美子、辻秀美、塚本達雄、本庶祥子

臨床栄養 145.2, 130-132, 2024

◆12 消化器疾患 1-7 口内炎、舌炎、胃食道逆流症、胃・十二指腸潰瘍、たんぱく漏出性胃腸症、炎症性腸疾患、過敏性胃腸症候群、下痢と便秘 13 循環器疾患 5 不整脈、心房細動、心室細動、心室頻拍

栗原伸公、今本美幸、辻秀美編著

サクセスフル食物と栄養学基礎 学文社 105-117, 131-146

◆治療となる栄養ケア 慢性膵炎

本田桂子、辻秀美他

新臨床栄養学 栄養ケアマネジメント第5版 医歯薬出版 255-260

### 〈論文発表〉

原著

◆肺非結核性抗酸菌症（肺 NTM 症）患者におけるサルコペニア有病率と病態・栄養状態の関連

高山祐美，北島尚昌，本田憲胤，湯面百希奈，福井基成，永井成美

日本病態栄養学会誌. 28(1), 97-106, 2025

◆Urinary Titin on the First Postoperative Day Predicts Long-Term Skeletal Muscle Loss in Patients with Gastroenterological Cancer

Kyomen M, † Tatsumi A, † Tsutsumi R, Izumi-Mishima Y, Hyodo M, Tanaka E, Iguchi K, Taura K, Terajima H, Honjo S, Hamasaki A, Nomura K, Sakaue H. International Journal of Molecular Sciences. 2025 Feb 26;26(5)

◆Association of energy expenditure with body composition and nutritional intake in male patients with esophageal and head and neck cancer

Ayako Tatsumi †, Momoko Kyomen †, Rie Tsutsumi, Kana Beppu, Rina Aihara-Matsushima, Yuna Izumi-Mishima, Sonoko Yasui-Yamada, Yasuo M Tsutsumi, Kazuhiro Nomura, Hiroshi Sakaue The Journal of Medical Investigation Vol. 72 2025 予定 (2025/2 受理済)